

ステロイド注射・外用後の全身症状を経て2～3年で通常生活に戻った成人アトピーの経過 (44歳)

症例 ID：001-40-YK4 | 記録日：2015年2月4日

1. 診断・治療前経過

育児と仕事の負担が大きかった時期に全身の強いかゆみが出て、皮膚科でステロイド注射を2週間ごとに約2か月受けました。次第に注射が効きにくくなり、複数の皮膚科で外用薬や内服薬を使用しました。

ステロイド使用から約3年後、皮膚が薄く傷つきやすい状態や胃痛があり、松本医院を受診されました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	全身のかゆみにステロイド注射、外用薬、内服薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	注射は約2か月、ステロイド全体では約3年間です。
中止時期	松本医院受診時です。
来院前／後	来院前に注射・外用・内服歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
発症時	来院前	全身に強いかゆみが出ました。
その後約2か月	注射治療	2週間ごとにステロイド注射を受けました。
その後約3年	薬剤継続	複数の皮膚科で外用薬と内服薬を使用し、皮膚が薄く傷つきやすくなりました。
約10年前	治療開始	松本医院を受診し、従来のステロイドを中止しました。
治療初期	ピーク	全身の痛み、強いかゆみ、不眠、浸出液、落屑が続きました。
開始2～3年	生活変化	強い症状がみられなくなり、通常の生活を送れるようになりました。
2015年時点	長期経過	職場環境や疲労が重なると時々かゆみが出るため、その都度受診していました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始後に全身へ針で刺されるような痛みと強いかゆみが出て、夜間に数時間しか眠れず、浸出液や落屑への処置が必要だった時期です。

5. 困りごと

- 全身の痛みとかゆみで夜間に眠れませんでした。
- 仕事中も痛みが続き、業務内容への配慮が必要でした。
- 衣類や寝具が浸出液で汚れ、家族による洗濯や清掃の支援が必要でした。

6. 経過のまとめ

治療開始後は全身の痛み、かゆみ、浸出液、落屑が強く出ましたが、2～3年ほどで強い症状がみられなくなり、通常の生活へ戻りました。

2015年時点では職場の異動や疲労が重なると時々かゆみが出るものの、その都度受診しながら生活されていました。

本ページは患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の結果を保証しません。